



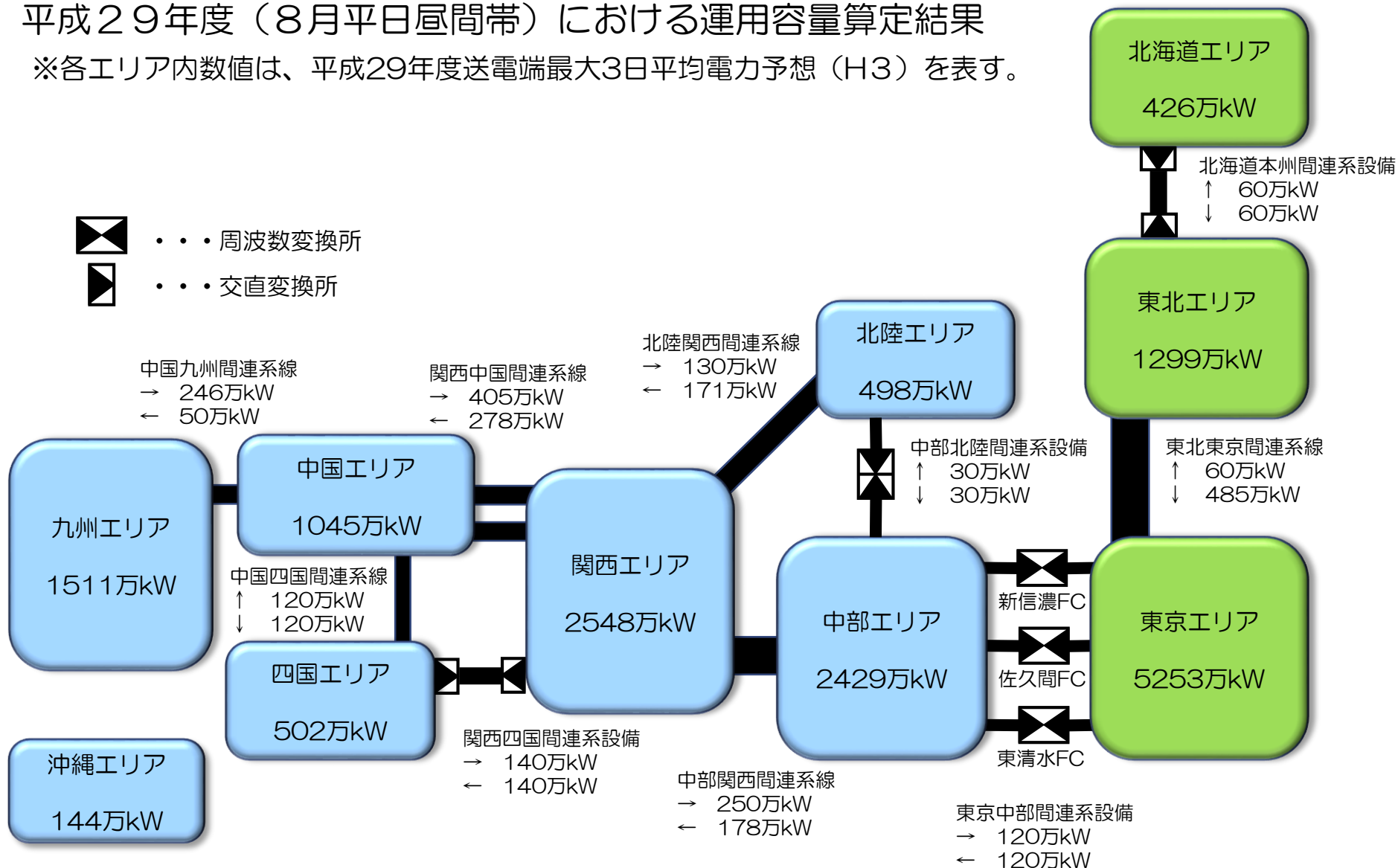
平成29年度（2017年度）10月以降の 連系線の運用容量（年間計画）

2017年 9月22日

平成29年度（8月平日昼間帯）における運用容量算定結果

※各エリア内数値は、平成29年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。

-  . . . 周波数変換所
-  . . . 交直変換所



【変更前】

平日:昼間帯

(単位:万kW)

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	157(④)	前半162(④) 後半170(④)	184(④)	195(④)	187(④)	前半183(④)【60(④)】 後半162(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	228(④)	前半232(④) 後半243(④)	253(④)	266(④)	261(④)	前半259(④) 後半232(④)

平日:夜間帯

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	126(④)	前半134(④) 後半142(④)	154(④)	164(④)	166(④)	前半157(④) 後半141(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	192	前半201(④) 後半209(④)	222	230	235	前半229(④) 後半211(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【 】内の数字は、作業時の運用容量を示す。
 < >内の数字は、運用容量の最大を示す。(東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

11月、3月における「前半」:15日まで、「後半」:16日以降

【変更後】

平日:昼間帯 赤文字:変更箇所

(単位:万kW)

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	52(④)	前半56(④) 後半64(④)	82(④)	83(④)	72(④)	前半65(④)【60(④)】 後半47(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	228(④)	前半232(④) 後半243(④)	253(④)	266(④)	261(④)	前半259(④) 後半232(④)

平日:夜間帯

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	92(④)	前半100(④) 後半107(④)	117(④)	125(④)	127(④)	前半119(④) 後半101(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	192	前半201(④) 後半209(④)	222	230	235	前半229(④) 後半211(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【 】内の数字は、作業時の運用容量を示す。
 < >内の数字は、運用容量の最大を示す。(東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

11月、3月における「前半」:15日まで、「後半」:16日以降

【変更前】

休日:昼間帯

(単位:万kW)

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	123(④)	前半133(④) 後半140(④)	156(④)	156(④)	150(④)	前半146(④) 後半134(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	184(④)	前半191(④) 後半200(④)	217(④)	216(④)	215(④)	前半210(④) 後半197(④)

休日:夜間帯

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	113(④)	前半119(④) 後半127(④)	138(④)	151(④)	141(④)	前半143(④) 後半130(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	171(④)	前半177(④) 後半188(④)	199(④)	204(④)	201(④)	前半200(④) 後半186(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【 】内の数字は、作業時の運用容量を示す。
 < >内の数字は、運用容量の最大を示す。(東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

11月、3月における「前半」:15日まで、「後半」:16日以降

【変更後】

休日:昼間帯 赤文字:変更箇所

(単位:万kW)

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	27(④)	前半35(④) 後半35(④)	60(④)	53(④)	44(④)	前半38(④) 後半27(④)
北陸関西間連系線	関西向	152(④)	160(④)	171(②)	171(②)	171(②)	154(④)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	184(④)	前半191(④) 後半200(④)	217(④)	216(④)	215(④)	前半210(④) 後半197(④)

休日:夜間帯

連系線	潮流方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中部関西間連系線	関西向	69(④)	前半80(④) 後半88(④)	103(④)	114(④)	99(④)	前半92(④) 後半79(④)
北陸関西間連系線	関西向	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)	171(②)【70(④)】
中国九州間連系線	中国向	171(④)	前半177(④) 後半188(④)	199(④)	204(④)	201(④)	前半200(④) 後半186(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【 】内の数字は、作業時の運用容量を示す。
 < >内の数字は、運用容量の最大を示す。(東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

11月、3月における「前半」:15日まで、「後半」:16日以降